2022～2031年度の連系線の運用容量（年間・長期）

2022年2月10日

電力広域的運営推進機関
Organization for Cross-regional Coordination of Transmission Operators,JAPAN
OCCTO

目次

1. 2022年度の年間運用容量

2. 2023年度の年間運用容量

3. 特殊日の運用容量

4. 2024～2031年度の長期運用容量

5. 全国系統の運用容量（2022年度8月平日昼間帯）

1.（1）2022年度の年間運用容量（平日：昼間帯）

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(③)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】
	東京向	544(②) 【475(①)】	499(②) 【509(②)】	544(②) 【394(②)】	【589(②)】	【509(②)】	555(①) 【514(②)】	534(②) 【399(②)】	509(②) 【365(①)】	540(①) 【494(②)】	459(②)	544(②)	519(②) 【395(①)】
東京中部間連系設備	東京向	【135(①)】	【180(①)】	【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【120(①)】	【150(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①)	【120(③)】
	中部向	【135(①)】	【180(①)】	【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【120(①)】	【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①)	【180(①)】
中部関西間連系線注1)	中部向	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④) 【0(①)】	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)
	関西向	58(④)	52(④)	73(④)	103(④)	116(④)	前半105(④) 【0(①)】 後半87(④)	68(④)	前半77(④) 後半83(④)	96(④)	104(④)	87(④)	前半75(④) 後半67(④)
北陸フェンス注1)	北陸向	130(④)	130(④) 【130(④)】	150(④)	150(④)	150(④)	150(④) 【150(④)】	【130(④)】	130(④) 【130(④)】	160(④)	160(④)	160(④)	160(④)
	中部・関西向	179(④)	169(④) 【150(④)】	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 【300(④)】 後半190(②) 【204(④)】	【173(④)】	前半 【190(④)】 後半190(②) 【196(④)】	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線注1)	北陸向	130(④)	130(④) 【0(①)】	150(④)	150(④)	150(④)	150(④) 【0(①)】	【0(①)】	130(④) 【0(①)】	160(④)	160(④)	160(④)	160(④)
	関西向	179(④)	169(④) 【0(①)】	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【0(①)】	【0(①)】	前半 【0(①)】 後半190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線注1)	関西向	430(③) 【395(③)】	430(③)	440(③) 【278(①)】	455(③) 【278(①)】	455(③)	前半455(③) 【329(①)】 後半440(③) 【329(①)】	420(③) 【329(①)】	440(③)	455(③) 【329(①)】	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半445(③)
	中国向	326(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70①】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) 【70①】
	四国向	140(①) 【70①】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) 【70①】
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】
	四国向	120(①) 【118(④)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	前半120(①) 【120(①)】 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	前半120(①) 【120(①)】 後半120(①) 【115(④)】
中国九州間連系線注1)	中国向	219(④) 【219(④)】	214(④) 【214(④)】	224(④)	241(④)	247(④)	前半241(④) 後半231(④)	220(④)	前半229(④) 後半233(④)	244(④)	275(④)	254(④)	前半251(④) 後半234(④)
	九州向	7(④) 【0(④)】	4(④) 【0(④)】	10(④)	20(④)	23(④)	前半18(④) 後半15(④)	8(④)	前半11(④) 後半12(④)	17(④)	18(④)	11(④)	前半12(④) 後半10(④)

（ ）内の数字は、運用容量決定要因（①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持）を示す。　【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
注1）9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

1.（2）2022年度の年間運用容量（平日：夜間帯）

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(③)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】
	東京向	529(②) 【470(①)】	464(②) 【489(②)】	519(②) 【369(②)】	【544(②)】	【469(②)】	540(①) 【484(②)】	514(②) 【379(②)】	489(②) 【355(①)】	519(②) 【454(②)】	509(②)	530(①)	494(②) 【380(①)】
東京中部間連系設備	東京向	【135(①)】	【90(①)】	【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【120(①)】	【150(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①)	【120(③)】
	中部向	【135(①)】	【90(①)】	【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【120(①)】	【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①)	【180(①)】
中部関西間連系線注1)	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④) 【0(①)】	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	86(④)	77(④)	86(④)	111(④)	110(④)	前半108(④) 【0(①)】 後半98(④)	97(④)	前半107(④) 後半108(④)	117(④)	132(④)	125(④)	前半118(④) 後半108(④)
北陸フェンス注1)	北陸向	70(④)	70(④) 【70(④)】	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	【70(④)】	70(④) 【70(④)】	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	190(②)	190(②) 【191(④)】	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 【236(④)】 後半190(②) 【210(②)】	【210(②)】	前半【210(②)】 後半190(②) 【210(②)】	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線注1)	北陸向	70(④)	70(④) 【0(①)】	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	【0(①)】	70(④) 【0(①)】	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	190(②)	190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【0(①)】	【0(①)】	前半 【0(①)】 後半190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線注1)	関西向	430(③) 【395(③)】	430(③)	440(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 【329(①)】 後半440(③) 【405(③)】	420(③)	445(③)	455(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半445(③)
	中国向	326(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70①】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) 【70①】
	四国向	140(①) 【70①】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) 【70①】
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】
	四国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	前半120(①) 【120(①)】 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	前半120(①) 【120(①)】 後半120(①) 【120(①)】
中国九州間連系線注1)	中国向	195(④) 【195(④)】	184(④) 【184(④)】	192(④)	206(④)	204(④)	前半206(④) 後半194(④)	190(④)	前半203(④) 後半202(④)	215(④)	237(④)	230(④)	前半221(④) 後半206(④)
	九州向	30(④) 【20(④)】	26(④) 【16(④)】	28(④)	36(④)	39(④)	前半39(④) 後半35(④)	35(④)	前半39(④) 後半40(④)	43(④)	45(④)	43(④)	前半42(④) 後半38(④)

（ ）内の数字は、運用容量決定要因（①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持）を示す。　【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
注1）9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

1.（3）2022年度の年間運用容量（休日：昼間帯）

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(③)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】
	東京向	519(②) 【529(②)】	499(②)	544(②) 【394(②)】	【589(②)】	【589(②)】	555(①) 【514(②)】	439(②)	509(②) 【365(①)】	540(①)	459(②)	544(②)	519(②) 【400(①)】
東京中部間連系設備	東京向	【135(①)】	【120(③)】	【120(③)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【165(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①)	【120(③)】
	中部向	【135(①)】	【180(①)】	【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【165(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①)	【180(①)】
中部関西間連系線注1)	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	32(④)	30(④)	41(④)	70(④)	81(④)	前半72(④) 後半57(④)	40(④)	前半47(④) 後半54(④)	71(④)	76(④)	58(④)	前半52(④) 後半46(④)
北陸フェンス注1)	北陸向	70(④)	70(④) 【70(④)】	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	【70(④)】	70(④) 【70(④)】	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	133(④)	131(④) 【111④)】	152(④)	189(④)	190(②)	前半190(②) 後半【156(④)】	【133(④)】	前半【142(④)】 後半【153(④)】	188(④)	190(②)	174(④)	前半164(④) 後半156(④)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線注1)	北陸向	70(④)	70(④) 【0(①)】	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	133(④)	131(④) 【0(①)】	152(④)	189(④)	190(②)	前半190(②) 後半 【0(①)】	【0(①)】	前半 【0(①)】 後半 【0(①)】	188(④)	190(②)	174(④)	前半164(④) 後半156(④)
関西中国間連系線注1)	関西向	430(③) 【405(③)】	430(③)	440(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半440(③) 【405(③)】	420(③)	445(③) 【329(①)】	455(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半445(③)
	中国向	326(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) 【70①】
	四国向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) 【70①】
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】
	四国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	前半120(①) 【107(④)】 後半120(①) 【103(④)】
中国九州間連系線注1)	中国向	182(④) 【182(④)】	174(④) 【174(④)】	185(④)	202(④)	213(④)	前半212(④) 後半193(④)	187(④)	前半193(④) 後半199(④)	207(④)	217(④)	210(④)	前半210(④) 後半201(④)
	九州向	0(④) 【0(④)】	0(④) 【0(④)】	3(④)	13(④)	16(④)	前半11(④) 後半8(④)	2(④)	前半4(④) 後半6(④)	13(④)	11(④)	5(④)	前半7(④) 後半5(④)

（ ）内の数字は、運用容量決定要因（①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持）を示す。　【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
注1）9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

1.（4）2022年度の年間運用容量（休日：夜間帯）

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(③)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】
	東京向	504(②) 【514(②)】	464(②)	519(②) 【369(②)】	【544(②)】	【549(②)】	540(①) 【484(②)】	419(②)	489(②) 【355(①)】	519(②)	509(②)	530(①)	494(②) 【380(①)】
東京中部間連系設備	東京向	【135(①)】	【120(③)】	【90(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【165(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①)	【120(③)】
	中部向	【135(①)】	【180(①)】	【90(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【165(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①)	【180(①)】
中部関西間連系線注1)	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	62(④)	55(④)	60(④)	83(④)	84(④)	前半86(④) 後半79(④)	78(④)	前半87(④) 後半95(④)	108(④)	120(④)	112(④)	前半99(④) 後半83(④)
北陸フェンス注1)	北陸向	70(④)	70(④) 【70(④)】	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	【70(④)】	70(④) 【70(④)】	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	175(④)	165(④) 【157(④)】	174(④)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半【191(④)】	【190④)】	前半【202(④)】 後半【210(②)】	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線注1)	北陸向	70(④)	70(④) 【0(①)】	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	175(④)	165(④) 【0(①)】	174(④)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半 【0(①)】	【0(①)】	前半 【0(①)】 後半 【0(①)】	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線注1)	関西向	430(③) 【405(③)】	430(③)	440(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半440(③) 【405(③)】	420(③)	445(③) 【329(①)】	455(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半445(③)
	中国向	326(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) 【70①】
	四国向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) 【70①】
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】
	四国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	前半120(①) 【120(①)】 後半120(①) 【120(①)】
中国九州間連系線注1)	中国向	171(④) 【171(④)】	162(④) 【162(④)】	170(④)	180(④)	184(④)	前半184(④) 後半175(④)	167(④)	前半175(④) 後半181(④)	199(④)	208(④)	205(④)	前半205(④) 後半188(④)
	九州向	23(④) 【15(④)】	21(④) 【12(④)】	22(④)	29(④)	32(④)	前半30(④) 後半30(④)	29(④)	前半34(④) 後半37(④)	40(④)	44(④)	40(④)	前半36(④) 後半32(④)

（ ）内の数字は、運用容量決定要因（①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持）を示す。　【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
注1）9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

2.（1）2023年度の年間運用容量（平日：昼間帯）

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①) 【60(③)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(③)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	534(②) 【400(①)】	524(②)	524(②) 【460(①)】	【564(②)】	【579(②)】	459(②) 【399(②)】	359(②)	424(②) 【284(②)】	454(②) 【439(②)】	459(②)	504(②)	434(②)
東京中部間連系設備	東京向	【120(③)】	【120(③)】	【120(③)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【165(①)】	210(①) 【150(①)】	210(①) 【120(①)】	210(①) 【120(①)】	210(①)	210(①)	210(①) 【180(①)】
	中部向	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【165(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【120(①)】	210(①) 【120(①)】	210(①)	210(①)	210(①) 【180(①)】
中部関西間連系線注1)	中部向	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④) 【0(①)】	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)
	関西向	58(④)	51(④)	73(④)	103(④)	116(④)	前半105(④) 【0(①)】 後半87(④) 【0(①)】	68(④)	前半77(④) 後半83(④)	96(④)	104(④)	87(④)	前半74(④) 後半67(④)
北陸フェンス注1)	北陸向	130(④)	130(④)	150(④) 【150(④)】	150(④)	150(④)	150(④) 【150(④)】	【130(④)】	【130(④)】	160(④) 【160(④)】	160(④)	160(④)	160(④)
	中部・関西向	179(④)	169(④)	190(②) 【178(④)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 【300(④)】 後半190(②) 【204(④)】	【173(④)】	前半【189(④)】 後半【195(④)】	190(②) 【210(②)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線注1)	北陸向	130(④)	130(④)	150(④) 【0(①)】	150(④)	150(④)	150(④) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	160(④) 【0(①)】	160(④)	160(④)	160(④)
	関西向	179(④)	169(④)	190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【0(①)】	【0(①)】	前半 【0(①)】 後半 【0(①)】	190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線注1)	関西向	440(③) 【329(①)】	440(③)	445(③) 【278(①)】	455(③)	455(③)	前半455(③) 【329(①)】 後半440(③)	440(③)	440(③)	445(③)	455(③)	455(③)	前半440(③) 【405(③)】 後半425(③)
	中国向	326(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70①】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	140(①) 【70①】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①) 【118(④)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①) 【120(①)】	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)
中国九州間連系線注1)	中国向	219(④) 【219(④)】	214(④) 【214(④)】	224(④)	240(④)	247(④)	前半241(④) 後半230(④)	219(④)	前半228(④) 後半233(④)	244(④)	274(④)	253(④)	前半251(④) 後半233(④)
	九州向	7(④) 【0(④)】	4(④) 【0(④)】	10(④)	20(④)	23(④)	前半19(④) 後半15(④)	8(④)	前半11(④) 後半12(④)	17(④)	18(④)	11(④)	前半12(④) 後半10(④)

（ ）内の数字は、運用容量決定要因（①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持）を示す。　【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
注1）9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

2.（2）2023年度の年間運用容量（平日：夜間帯）

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①) 【60(③)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(③)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	499(②) 【355(①)】	489(②)	489(②) 【415(①)】	【529(②)】	【544(②)】	424(②) 【364(②)】	404(②)	489(②) 【320(①)】	504(②) 【439(②)】	509(②)	570(①)	495(①)
東京中部間連系設備	東京向	【120(③)】	【120(③)】	【120(③)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①) 【150(①)】	210(①) 【120(①)】	210(①) 【165(①)】	210(①)	210(①)	210(①) 【180(①)】
	中部向	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【120(①)】	210(①) 【165(①)】	210(①)	210(①)	210(①) 【180(①)】
中部関西間連系線注1)	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④) 【0(①)】	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	85(④)	77(④)	86(④)	111(④)	110(④)	前半108(④) 【0(①)】 後半98(④) 【0(①)】	97(④)	前半107(④) 後半108(④)	117(④)	132(④)	125(④)	前半118(④) 後半108(④)
北陸フェンス注1)	北陸向	70(④)	70(④)	80(④) 【80(④)】	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	【70(④)】	【70(④)】	90(④) 【90(④)】	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	190(②)	190(②)	190(②) 【207(④)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 【236(④)】 後半190(②) 【210(②)】	【210(②)】	前半【210(②)】 後半【210(②)】	190(②) 【210(②)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線注1)	北陸向	70(④)	70(④)	80(④) 【0(①)】	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	90(④) 【0(①)】	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	190(②)	190(②)	190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【0(①)】	【0(①)】	前半 【0(①)】 後半 【0(①)】	190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線注1)	関西向	440(③)	440(③)	445(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半440(③)	440(③)	440(③)	445(③)	455(③)	455(③)	前半440(③) 後半425(③)
	中国向	326(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70①】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	140(①) 【70①】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①) 【120(①)】	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)
中国九州間連系線注1)	中国向	195(④) 【195(④)】	184(④) 【184(④)】	192(④)	206(④)	203(④)	前半205(④) 後半194(④)	190(④)	前半202(④) 後半202(④)	215(④)	237(④)	230(④)	前半220(④) 後半206(④)
	九州向	30(④) 【20(④)】	26(④) 【16(④)】	28(④)	36(④)	40(④)	前半39(④) 後半35(④)	35(④)	前半39(④) 後半40(④)	43(④)	45(④)	43(④)	前半42(④) 後半38(④)

（ ）内の数字は、運用容量決定要因（①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持）を示す。　【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
注1）9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

2.（3）2023年度の年間運用容量（休日：昼間帯）

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(③)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	534(②) 【400(①)】	524(②)	539(②) 【464(②)】	【559(②)】	【579(②)】	459(②) 【494(②)】	359(②)	424(②) 【339(②)】	454(②)	459(②)	504(②)	434(②)
東京中部間連系設備	東京向	【120(③)】	【120(③)】	【120(③)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【120(①)】	210(①) 【165(①)】	210(①)	210(①)	210(①) 【180(①)】
	中部向	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【120(①)】	210(①) 【165(①)】	210(①)	210(①)	210(①) 【180(①)】
中部関西間連系線注1)	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④) 【0(①)】	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	32(④)	30(④)	41(④)	70(④)	81(④)	前半72(④) 後半57(④) 【0(①)】	40(④)	前半47(④) 後半54(④)	71(④)	75(④)	58(④)	前半52(④) 後半45(④)
北陸フェンス注1)	北陸向	70(④)	70(④)	80(④) 【80(④)】	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	【70(④)】	【70(④)】	90(④) 【90(④)】	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	133(④)	131(④)	151(④) 【132(④)】	189(④)	190(②)	前半190(②) 後半172(④) 【156(④)】	【133(④)】	前半【142(④)】 後半【152(④)】	187(④) 【174(④)】	190(②)	174(④)	前半164(④) 後半156(④)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線注1)	北陸向	70(④)	70(④)	80(④) 【0(①)】	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	90(④) 【0(①)】	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	133(④)	131(④)	151(④) 【0(①)】	189(④)	190(②)	前半190(②) 後半172(④) 【0(①)】	【0(①)】	前半 【0(①)】 後半 【0(①)】	187(④) 【0(①)】	190(②)	174(④)	前半164(④) 後半156(④)
関西中国間連系線注1)	関西向	440(③)	440(③)	445(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半440(③)	440(③)	440(③)	445(③)	455(③)	455(③)	前半440(③) 後半425(③)
	中国向	326(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70①】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	140(①) 【70①】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①) 【100(④)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)
中国九州間連系線注1)	中国向	182(④) 【182(④)】	173(④) 【173(④)】	185(④)	201(④)	213(④)	前半212(④) 後半193(④)	186(④)	前半193(④) 後半199(④)	207(④)	217(④)	210(④)	前半210(④) 後半200(④)
	九州向	0(④) 【0(④)】	0(④) 【0(④)】	3(④)	13(④)	16(④)	前半11(④) 後半8(④)	2(④)	前半4(④) 後半6(④)	13(④)	11(④)	5(④)	前半7(④) 後半5(④)

（ ）内の数字は、運用容量決定要因（①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持）を示す。　【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
注1）9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

2.（4）2023年度の年間運用容量（休日：夜間帯）

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(③)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	499(②) 【355(①)】	489(②)	504(②) 【429(②)】	【524(②)】	【544(②)】	424(②) 【459(②)】	404(②)	489(②) 【320(①)】	504(②)	509(②)	570(①)	495(①)
東京中部間連系設備	東京向	【120(③)】	【120(③)】	【120(③)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【120(①)】	210(①) 【165(①)】	210(①)	210(①)	210(①) 【180(①)】
	中部向	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【120(①)】	210(①) 【165(①)】	210(①)	210(①)	210(①) 【180(①)】
中部関西間連系線注1)	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④) 【0(①)】	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	62(④)	54(④)	60(④)	82(④)	84(④)	前半86(④) 後半79(④) 【0(①)】	78(④)	前半87(④) 後半95(④)	107(④)	120(④)	112(④)	前半99(④) 後半83(④)
北陸フェンス注1)	北陸向	70(④)	70(④)	80(④) 【80(④)】	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	【70(④)】	【70(④)】	90(④) 【90(④)】	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	174(④)	165(④)	173(④) 【166(④)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【191(④)】	【190(④)】	前半【202(④)】 後半【210(②)】	190(②) 【210(②)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線注1)	北陸向	70(④)	70(④)	80(④) 【0(①)】	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	90(④) 【0(①)】	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	174(④)	165(④)	173(④) 【0(①)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【0(①)】	【0(①)】	前半 【0(①)】 後半 【0(①)】	190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線注1)	関西向	440(③)	440(③)	445(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半440(③)	440(③)	440(③)	445(③)	455(③)	455(③)	前半440(③) 後半425(③)
	中国向	326(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70①】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	140(①) 【70①】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)
中国九州間連系線注1)	中国向	171(④) 【171(④)】	162(④) 【162(④)】	169(④)	180(④)	184(④)	前半184(④) 後半175(④)	167(④)	前半174(④) 後半181(④)	199(④)	208(④)	205(④)	前半205(④) 後半188(④)
	九州向	23(④) 【15(④)】	21(④) 【12(④)】	22(④)	29(④)	32(④)	前半30(④) 後半30(④)	29(④)	前半34(④) 後半37(④)	40(④)	44(④)	40(④)	前半36(④) 後半32(④)

（ ）内の数字は、運用容量決定要因（①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持）を示す。　【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
注1）9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

3.特殊日の運用容量

特殊日として扱う日については、系統情報サービス「2022年度・2023年度連系線運用にかかわる平日・休日カレンダーについて」参照

単位：万kW

2022年度

連系線	潮流方向	断面	GW	盆	年末年始
東北東京間連系線	東京向	昼間帯	427(①)	-	-
中部関西間連系線*1	中部向	昼間帯	200(④)	200(④)	200(④)
		夜間帯	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	昼間帯	25(④)	99(④)	57(④)
		夜間帯	49(④)	101(④)	107(④)
北陸フェンス*1	中部・関西向	昼間帯	125(④)	190(②)	167(④)
		夜間帯	158(④)	190(②)	190(②)
中国四国間連系線*1	中国向	昼間帯	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)
		夜間帯	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)
	四国向	昼間帯	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)
		夜間帯	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)
中国九州間連系線*1	中国向	昼間帯	171(④)	244(④)	195(④)
		夜間帯	158(④)	196(④)	188(④)
	九州向	昼間帯	0(④)	22(④)	8(④)
		夜間帯	19(④)	36(④)	41(④)

2023年度

連系線	潮流方向	断面	GW	盆	年末年始
東北東京間連系線	東京向	昼間帯	401(①)	-	-
中部関西間連系線*1	中部向	昼間帯	200(④)	200(④)	200(④)
		夜間帯	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	昼間帯	25(④)	99(④)	57(④)
		夜間帯	49(④)	101(④)	107(④)
北陸フェンス*1	中部・関西向	昼間帯	125(④)	190(②)	167(④)
		夜間帯	158(④)	190(②)	190(②)
中国四国間連系線*1	中国向	昼間帯	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)
		夜間帯	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)
	四国向	昼間帯	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)
		夜間帯	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)
中国九州間連系線*1	中国向	昼間帯	171(④)	243(④)	194(④)
		夜間帯	157(④)	195(④)	188(④)
	九州向	昼間帯	0(④)	22(④)	8(④)
		夜間帯	19(④)	36(④)	41(④)

（ ）内の数字は、運用容量決定要因（①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持）を示す。　【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。

*1　休日または特殊日明けの夜間帯のうち0:00～8:00は、休日または特殊日の夜間帯の運用容量とする。

4.2024～2031年度の長期運用容量

単位：万kW

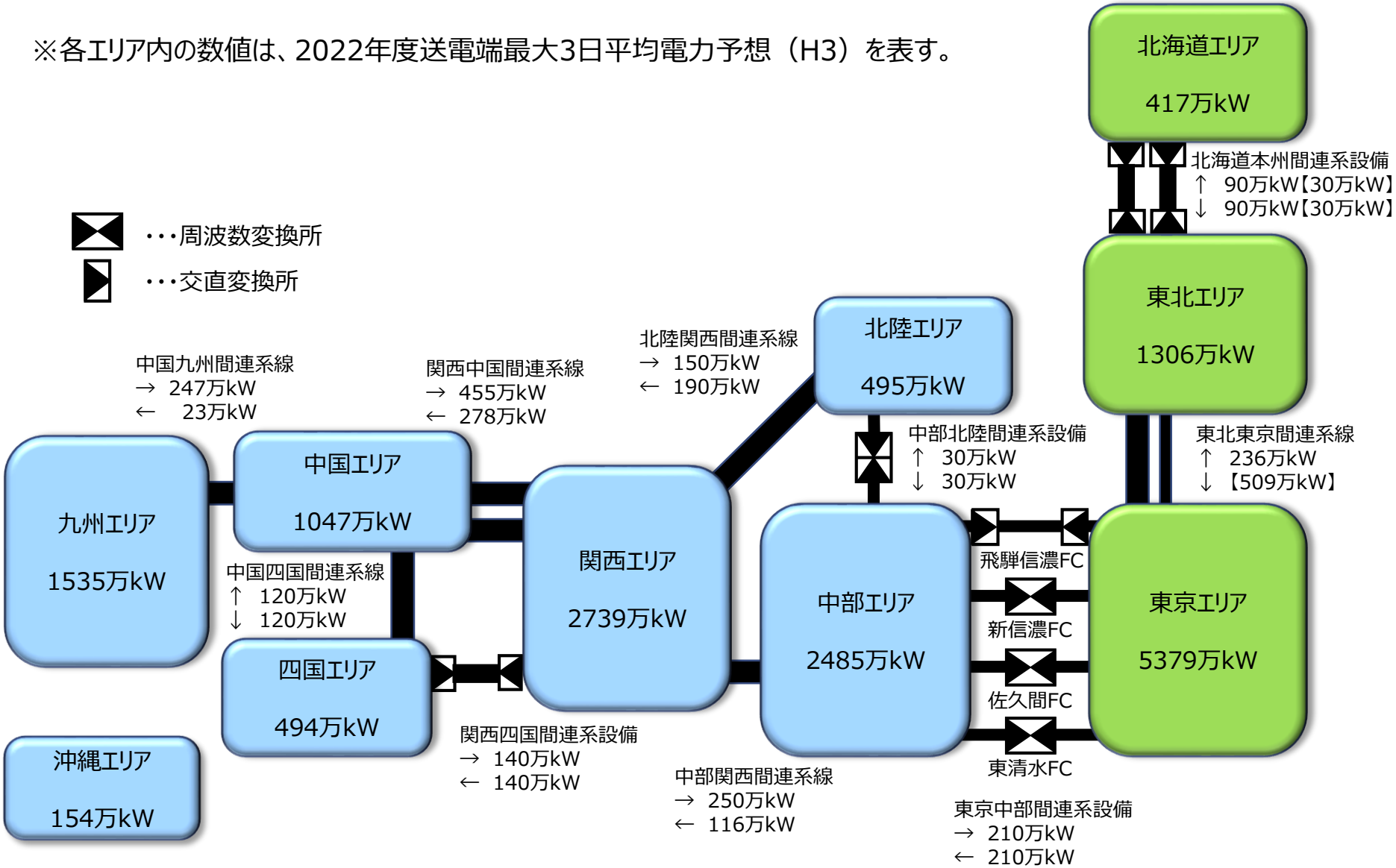
連系線	潮流方向	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度
北海道本州間連系設備[1]	北海道向	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	東北向	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
東北東京間連系線[2][3]	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)[2]	631(①)	631(①)	631(①)	631(①)
	東京向	555(②)	555(②)	555(②)	555(②)[3]	1028(②)	1028(②)	1028(②)	1028(②)
東京中部間連系設備[4]	東京向	210(①)	210(①)	210(①)	210(①)	300(①)	300(①)	300(①)	300(①)
	中部向	210(①)	210(①)	210(①)	210(①)	300(①)	300(①)	300(①)	300(①)
中部関西間連系線	中部向	250(④) 【200(④)】	250(④) 【200(④)】	250(④) 【200(④)】	250(④) 【200(④)】	250(④) 【200(④)】	250(④) 【200(④)】	250(④) 【200(④)】	250(④) 【200(④)】
	関西向	134(④) 【25(④)】	134(④) 【25(④)】	134(④) 【25(④)】	134(④) 【25(④)】	134(④) 【25(④)】	134(④) 【25(④)】	134(④) 【25(④)】	134(④) 【25(④)】
北陸フェンス	北陸向	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】
	中部・関西向	190(②) 【125(④)】	190(②) 【125(④)】	190(②) 【125(④)】	190(②) 【125(④)】	190(②) 【125(④)】	190(②) 【125(④)】	190(②) 【125(④)】	190(②) 【125(④)】
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線	北陸向	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】
	関西向	190(②) 【125(④)】	190(②) 【125(④)】	190(②) 【125(④)】	190(②) 【125(④)】	190(②) 【125(④)】	190(②) 【125(④)】	190(②) 【125(④)】	190(②) 【125(④)】
関西中国間連系線	関西向	455(③)	455(③)	455(③)	455(③)	455(③)	455(③)	455(③)	455(③)
	中国向	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
中国四国間連系線	中国向	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
中国九州間連系線	中国向	278(①) 【157(④)】	278(①) 【157(④)】	278(①) 【157(④)】	278(①) 【157(④)】	278(①) 【157(④)】	278(①) 【157(④)】	278(①) 【157(④)】	278(①) 【157(④)】
	九州向	23(④) 【0(④)】	23(④) 【0(④)】	23(④) 【0(④)】	23(④) 【0(④)】	23(④) 【0(④)】	23(④) 【0(④)】	23(④) 【0(④)】	23(④) 【0(④)】

（ ）内の数字は、運用容量決定要因（①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持）を示す。　【 】内の数字は、最大需要時以外で空容量が小さくなると予想される値を示す。

1）2027年度に北海道本州間連系設備30万kWの増強を予定。
2）2027年第二連系線運開後は、631万kW（相馬双葉幹線1回線熱容量相当）になる見込み。
3）2027年第二連系線運開後は、1028万kW（東北東京間連系線に係る広域系統整備計画に基づく）になる見込み。
4）2027年度に東京中部間連系設備90万kWの増強を予定。

5.全国系統の運用容量（2022年度8月平日昼間帯）

※各エリア内の数値は、2022年度送電端最大3日平均電力予想（H3）を表す。



【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。